

特定非営利活動法人学生支援ハウスようこそ 2020年度 事業報告

はじめに

・法人設立5年目を迎えた本年度も、設立趣旨に掲げた理念のもと、法人の理事・監事・事務局・ハウススタッフが一丸となって協働し、ハウスに入居する学生に安心安全の住居・食事・相談支援等を提供することができた。2020年3月には3名の学生が入居期間満了によりハウスを巣立った。

・2020年は未曾有のコロナ禍によりハウス運営も大きな影響を受けた。4月以降は新学期にもかかわらず、入居学生はオンライン授業となり、ハウス内での受講を余儀なくされた。緊急事態宣言発令中はアルバイトの自粛を強いられ経済的にも苦しい状況が続いた。ハウスでは手洗い・うがい、手指消毒、飛沫防止パネルの設置など、感染予防対策を徹底している。入居学生には門限の時間変更や外泊の禁止をお願いし、感染予防対策の注意喚起をくり返し行った。また、ハウスに宿泊するスタッフにとっても困難な状況が続き、日勤勤務を導入するなど勤務体制を柔軟に変更した。非常時にもかかわらず新しいスタッフの加入があり、コロナ禍においても途切れることなく学生の生活を支えることができた。今後も、感染対策の基盤整備や緊急時対応のマニュアルにもとづき、学生・スタッフがともに協力してこの難局を乗り越えていきたい。

・コロナ禍ではあったものの、Zoom等のオンライン会議システムを積極的に活用し、ハウス会議、スタッフ会議を継続した。また、学生の退所施設の職員とケースカンファレンスを複数回実施するなど、施設との緊密な連携・協働体制の構築を進めた。

・法人設立5年目を迎えるにあたり、Zoomウェビナーを用いた活動報告会を開催した(2020年12月20日)。ハウスアテンダント\* (HA)のみなさんを中心にハウスの暮らしに根ざした支援の実際を報告し、参加した会員とともに学生支援の思いを共有した。

\*学生への面談・相談等を通して学生支援の中心を担うスタッフ

1. 学生生活支援のためのシェアハウス運営事業 (数字は2020年12月末日現在)

① 学生の入居状況

- ・2018年度より継続1名、2019年度より継続1名
- ・2020年4月に3名入居

② スタッフの勤務状況

- ・毎日、スタッフがハウスに宿泊し食事提供・環境整備・相談援助等を行った。宿泊を基本にしながら、コロナ感染症の予防対策のため、日勤で業務にあたる日

を設けた。

- ・ハウスイテンダント（HA）：3名
- ・スタッフ：12名（そのうち、宿泊対応する理事・事務局員：4名）

③ コロナ対策に伴うハウス勤務の変更等

- ・日勤勤務を導入し柔軟に対応できる体制を組んだ。
- ・コロナ感染の危険性のある緊急事態宣言中にハウス勤務に入ってくくださったHAおよびスタッフのみなさんに謝意を示すためのギフトカードを支給した（5月と12月の2度）。

④ ハウスの環境整備

- ・コロナ対策のため衛生品を購入し感染予防を徹底した居住環境を整備した。
- ・必要に応じてハウス建物の修繕を行った。
- ・Wi-Fi環境の改善およびBSテレビ回線の設置を実施した。
- ・スタッフ用の携帯電話をスマホに変更するなど新たな備品を購入した。

⑤ 食事の提供

- ・毎日、スタッフが、学生に手作りの温かい食事（朝夕食）を提供し、学生の食生活を支えた。調理ボランティアとして2名の方から協力を得た。

⑥ 個別面談・ケースカンファレンスの実施

- ・学生一人ひとりに対して定期的な個別面談を実施し、生活・学業等の相談の機会を設けた。
- ・必要に応じて、退所施設職員と連携しケースカンファレンスを実施した。

⑦ スタッフ会議、ハウスイテンダント（HA）会議の開催

- ・スタッフによる、ハウスの学生支援に関する会議を毎月開催し、スタッフ間で情報を共有するとともに支援のあり方を協議した。4月以降はZoomを用いて開催した。また、HAによる会議も適宜開催し、学生に対する個別支援のあり方を検討した。

⑧ ハウス会議の開催

- ・学生とHAを中心にハウスのルール等に関する会議を実施した（Zoom開催）。

⑨ ハウス行事の開催

- ・ハウスを退居する学生3名のために送別会を開催した（2020年2月20日）。送別会には理事・事務局メンバーも参加しハウスを巣立つ学生たちを祝福した。なお、例年実施している歓迎会・誕生会・クリスマス会などは感染予防のため実施せず個別にお祝いをした。

⑩ 寄付・寄贈品

- ・多数の団体、個人様から寄付があった。季節の果物、日用品等を寄贈していただいた。また、新鮮な有機野菜や肉等を定期的に寄贈いただいた。
- ・民間企業から奨学金による学生支援の申し出があり検討を行った。

#### ⑪ 退居者支援（アフターケア）

- ・必要に応じて連絡を取るなど、退居者への見守り・助言の支援を継続した。

### 2. 調査研究・広報啓発に関する事業

#### ① 講演会・活動報告会等の開催

若者支援に関する一般公開の講演会への参加や、活動報告会の開催により、ようこそその取り組みを踏まえた学生支援の必要性を訴えた。

- ・招待講演への出講

立教大学社会福祉研究所「社会福祉のフロンティア 子どもの社会的支援を考える」

日時：2020年1月18日（土）13:30～17:00

場所：立教大学池袋キャンパス太刀川記念館

講師：酒本知美

- ・活動報告会「学生支援ハウスようこそ5年目を迎えて」の開催

日時：2020年12月20日（日）14:00～16:30

場所：オンライン（Zoom ウェビナーの使用）

講師：庄司洋子、湯澤直美、細金和子、古川由紀、池田恭子

#### ② 自治体・社会福祉協議会との連携

ハウス所在地の自治体が開催する居住支援協議会、および社会福祉協議会が開催する子ども若者支援のネットワークの会議に、理事長が定期的に参加し、地元自治体・社協との連携を進めた。

#### ③ メールマガジンの発行、ホームページの更新

・会員あてのメールマガジンを5回発行し（10～13号+臨時号）、ようこそその活動およびハウス運営に関する情報発信を行った。ホームページを随時更新し活動の広報に努めた。

#### ④ 見学・相談の対応

- ・入居を希望・検討する児童養護施設関係者の見学・相談に応じた。

### 3. 法人に関する事項

#### ① 各種会議の開催

- ・理事会、事務局会議等を定期的に開催し、法人の安定的な運営に努めた。

#### ② 謝金内規の改定

- ・スタッフの謝金・旅費に関する内規を検討し、改定した。

#### ③ 助成金の活用

以下の団体から助成を受けることができ、助成金を活用した事業を実施した。

- ・中央ろうきん若者応援ファンド（前年度からの継続）
- ・首都圏若者サポートネットワーク 若者おうえん基金「新型コロナ緊急助成」

- ・NHK 厚生文化事業団「わかば基金」
- ・パルシステム東京「市民活動助成基金」

④ 自立援助ホーム化に関する行政訪問等

地元自治体の児童相談所設立準備担当者との意見交換を行った（2020年7月17日）。児童相談所開設が2026年の予定となっていることが示され、今後さらなる情報共有・意見交換の必要を確認した。

また、他自治体の地方議員から自立援助ホームの設立に関する相談があり検討を行った。